

戸塚 文彦 議員

(仮称)袋井南認定こども園の運営形態

**問** 就学前の子どもの教育・保育のあり方に関する基本方針では「今後概ね10年における統廃合については、1小学校区1公立園を存続させていくことが望ましい」とあるが、この方針を早々転換するところとなるのか。

**答** 「幼児教育・保育の無償化」という新たな方向性が示され無償化による市の財政負担が明らかに became 進めたい。

**問** 運営形態については、民営化ありきではなく、保護者や地元住民の皆さまなどの意見を踏まえ、決定すべきではないか。

**答** 地域の皆さまや保護者の皆さまに、市の情報を示し、さまざまな観点から意見交換をし、ご理解いただく中で、3園統合を進めていきたい。

木下 正 議員

学力の向上に関する課題解決

**問** 袋井版学力・学習状況調査の結果に基づき対策は。

**答** 国語、算数、数学の基礎基本の定着を目指し授業改善に取り組んだ。幼小中一貫教育の推進で、幼児期に学びに向かう力の育成や小学校低学年からの学力の向上により、中学卒業時の学力の向上を目指していきたい。

**問** 幼児からの学習意欲向上の対策は。

**答** 就学前教育カリキュラムを各園の教育計画に位置付け、3歳児で「生活習慣」4歳児で「学びに向かう力」5歳児で「思考・表現の基礎となる力」を育て、小1からの学習態度を身につけさせる。さらに、小1プロブレム対策には幼小接続カリキュラムを作成し、市内公立の幼稚園・保育所・こども園、小学校で実施し円滑な幼小接続を図ってきたい。



満タン&灯油プラス1缶を啓発するのぼり

「満タン&灯油1缶プラス運動」を提案

**問** 車の燃料メーターが半分になったら満タンにすることや、暖房用の灯油1缶余分に持つことで災害時の市民の安心度が高まるのでは。

**答** 静岡県石油業協同組合と連携し、ホームページや広報ふくるいへの掲載、防災講話や地域防災対策会議での周知など積極的に市民に呼び掛けていきたい。



袋井体育センター

市内スポーツ施設の現状と今後

**問** 体育施設の躯体や備品のメンテナンスについて専門家を交えた協議はしているか。

**答** 現在、市職員による年1回の点検を実施し、必要に応じ随時修繕、備品交換をしている。今後は専門家の意見を取り入れ、スポーツ施設の予防保全を進める計画を2020年までに策定していきたい。